

「令和元年度 山城地方特別支援教育非常勤講師等研修会」のご報告



日時：令和元年5月22日（水）
午後1時30分～同4時30分
場所：京都府総合教育センター 第5研修室
参加者：44名

- 特別支援教育指導員
- 小学校低学年指導補助
- 市町（広域連合）教育委員会
特別支援教育支援員
- 常勤講師 等



講義 「児童・生徒、一人一人に合った
適切な支援の実践について
—学校組織の一員としての
役割の中で—」

講師 京都府スーパーサポートセンター
所長 高橋 広行 様

児童生徒を支援するときに、心がけたい
ことや、子どもを受け止める際の心構えな
どを、体験を交えながら、わかりやすく、
楽しく丁寧にご講義いただきました。

<キーワード>

多様性・多面的・柔軟性
アセスメント・合理的配慮・自立活動
SLD（限局性学習症）
ADHD（注意欠陥・多動症）
ASD（自閉スペクトラム症）
DCD（発達性協調運動症）

事例にもとづいた
研究協議・交流

4～5人のグループで事例をもとに研
究協議と全体交流を行いました。特別支
援教育に長く取り組んでこられた方、今
年度初めてたずさわの方が混在するなか、
講義から学んだことを確認し、他校の支
援方法や悩み等を聞き合ったりすること
で、明日からのモチベーションにつなげ
ていただけた様子でした。

【参加者の感想】

- ◆ 講義は、とても分かりやすく、興味深い内容だった。私の支援が子どもたちの人生に生かされるものでありたいと感じた。
- ◆ 支援方法や内容について悩んでいたが、様々な対応のヒントになった。
- ◆ 専門用語や特別支援教育に対する知識が深まり良かった。
- ◆ 新学習指導要領を熟読したい、学ぶ必要があると思った。
- ◆ グループ交流では他校の様子がわかり、実践してみようと思うものがあり、有意義な時間であった。

